

## 9月21日問題

### 3 次の文章を読み、各問に答えよ。

インドでは進入したアーリア人と先住民がまじわる社会形成過程で、ヴァルナ制という4つの階層と祭式を重視するバラモン教が生まれた。前6世紀頃いくつもの都市国家がつくられ、4つの階層のうち武士階層や商業に従事する階層により、バラモン教に対抗する新しい宗教がおこった。なかでもガウタマ=シッダールタ(釈迦、尊称をAブッダ)のひらいた仏教と、1のひらいたジャイナ教は人々の支持を集めた。

前3世紀に2朝のアショーカ王はダルマ(法、倫理)による統治をめざし、仏教を保護し、仏典の編集事業、各地への布教をおこなった。紀元前後には、仏教の中からすべての人の救済をめざす大乘仏教という新しい運動が生まれた。クシャーナ朝の保護を受けた大乘仏教は、ヘレニズム文化の影響を受けた仏像をつくるようになり、ガンダーラ様式の仏教美術とともに、中央アジア、中国などへ影響を与えた。

4世紀に入ると3朝がおこり、4語が公用語となった。仏教やジャイナ教が盛んとなり、純インド的な3美術が成立した。3朝へは中国から法顕が訪れた。のちにB玄奘も仏典を持ち帰って翻訳した。一方ヒンドゥー教も定着した。

東南アジアでは港市国家が建設され、交易によって栄えた。1世紀末東南アジア最古の国家とされる扶南がつくられ、インドとの関係が深まった。4世紀末から5世紀にかけて広い地域で「インド化」が進んでいった。6世紀にはメコン川中流域にクメール人がカンボジアをたて、12世紀にはヒンドゥー教・仏教の影響を受けた5がつくられた。11世紀にはイラワディ川流域にパガン朝がおこり、スリランカとの交流で上座部仏教が伝わり、チャオプラヤ川下流のCドヴァーラヴァティー王

国、タイのスコタイ朝などインドシナ半島では上座部仏教が信仰された。

東南アジアの諸島部では、スマトラ島で海洋交易に積極的にたずさわったDシュリーヴィジャヤ王国や、ジャワのシャイレンドラ朝では大乘仏教が盛んで、後者の6は著名な石造遺跡である。しかし、その後ヒンドゥー教の勢力が強くなっていった。

大乘仏教は中央アジアから中国へ後漢代に伝わった。中国では神仙思想などとも関係しつつ、魏晋南北朝時代に発展したが、渡来僧として4世紀初めに洛陽にいたった亀茲出身の仏図澄、5世紀初めに仏典を漢訳した7、禅宗の始祖とされる達磨がおり、一方3朝時代に渡印した法顕は、帰国してE旅行記を記した。この時代から唐にかけて各地に石窟寺院がつくられたが、8石窟は大同市にありガンダーラ美術・3美術の影響がみられる。王室や貴族に支持され国家的保護を受けて、仏典が伝わり、翻訳が進み多くの宗派が成立したが、法華経を聖典とする9は入唐した最澄によって日本へも伝えられた。

一般的には、中国南朝の仏教は百済へ、北朝の仏教は高句麗へ伝わったと言われている。最も遅く伝わったのは新羅で法興王代であったが、10の石造多宝塔は著名である。日本へは百済から南朝の仏教が伝わり、飛鳥文化として花開いた。

問1. 文中のに入る最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークせよ。

[語群]

- あ. アジャンター い. アンコール=ワット
- う. ヴァルダナ え. ヴァルダマーナ お. ウマイヤ
- か. ウルドゥー き. エローラ く. カーリダーサ
- け. グプタ こ. サータヴァーハナ
- さ. サンスクリット し. タージ=マハル
- す. タミル せ. チンドラグプタ そ. チョーラ
- た. ナーナク ち. ナンダ つ. プランバナン
- て. ペルシア と. ボロブドゥール な. マウリヤ
- に. 雲崗 ぬ. 海印寺 ね. 鳩摩羅什 の. 浄土宗
- は. 真言宗 ひ. 大秦寺 ふ. 天台宗 へ. 敦煌
- ほ. 仏国寺 ま. 竜樹 み. 竜門

問2. 文中の下線部A～Eに関連して、下記の設問に答えよ。

- A. もとはブッダの遺骨をおさめるためつくられた建造物を何というか記せ。一般に古代インドでは石造、中国・日本では木造である。
- B. 玄奘や義浄が学んだ僧院の名を記せ。
- C. この王国をつくった民族名を記せ。
- D. シュリーヴィジャヤ王国最大の港市都市の名を記せ。
- E. 東晋時代の法顕のインド旅行記の書名を記せ。